

事例 2

対象

中学校 第2学年

キーワード

食品ロス

教科・科目

技術・家庭（家庭分野）C 消費生活・環境

食品メーカーと連携して持続可能な食生活を考える事例

概要

自分や家族の消費行動について、環境への負荷を軽減させるために望ましい自立した消費者としての考えを加えて、計画を立てて実践しようとする意欲と態度を育てる取組となっている。また、食品ロスなどの社会的課題や食生活の問題を見いだすことで、自分の食生活を振り返り、持続可能な社会の構築を意識した食生活の実践へとつなげていくことに取り組んだ。

外部との連携

食べ物が食卓に届くまでに起こる食品ロスを学びながら解決方法を考える内容となっている大阪府が作成したカードゲームを活用したり、食品メーカーによる食品ロス削減を踏まえた調理実習を行ったりすることで、消費生活の中から社会的課題としての食品ロスの問題を見いだして、その解決に向けて具体的な方法を考えることにつながる。外部連携をするにあたっての準備としては、企業との打ち合わせを通して、カードゲームのルール確認、当日の流れと授業を実施する上で準備するものとして生徒が授業中に共同編集できるスライドのデータの確認を行った。



成果・課題

- ・カードゲームを授業の導入で活用し、生徒の食品ロスに対する興味・関心を高めることで、多くの生徒にとって食品ロスの問題を自分事としてとらえ、イメージが具体化された姿が見られた。さらに、食品ロスの問題が食品の製造過程での規格外品やまとめ買いによる廃棄など様々な要因によるものであることを理解できた。
- ・食品ロス等の問題が、自分の消費生活や消費行動と深く関わっていることに気づき、学んだことを自らの消費生活や消費行動に生かして工夫し表現することを身に付けるためには、オンラインで外部団体と連携して授業をする際に外部講師と生徒が食品ロスの問題を題材に協議する場の充実などの授業の工夫が必要だと感じた。



実践者の声

- ・学んだこと（調理方法の実践等）をもとに家で取り組んでみたという生徒の声を聞き、自分自身だけでなく家族の消費生活・消費行動の工夫の実践にもつなげることができたと感じた。
- ・学習した内容を生徒が自分事としてとらえ、より実践的な視点で深めることを目的とし、持続可能な消費行動の実践につなげる機会として企業とのディスカッションを設けた。例えば、「食品ロス削減の取り組み」などに関する具体的な実践事例を聞くことができた。

動画で手軽に！授業の様子をチェック！

授業の様子を約8分の動画にまとめました。
QRコードもしくは下記URLから動画を読み込んでください。
<https://youtu.be/iEHkfn43U20>



単元計画

目標

生徒たちが自分事として食品ロス問題に取り組み、消費者として何ができるのかを考え、よりよい社会の実現に向け行動する力を育むことを目標とする。

単元計画 ※ピックアップ授業（詳細は次項参照）

時間数 (時)	学習課題・内容（児童生徒の様子等）
1	題材・学習課題
	○食品ロス削減の理解と多面的なアイデアの創出
	活動内容 (活動内容) カードゲームを通して、食品ロス削減のための多様な視点(家庭、学校、外食産業など)からのアイデアを創出した。 (生徒の様子) グループで導入としてカードゲームに取り組むことで、食品ロスが発生するさまざまな要因について議論し、自分の考えを広げることで、課題解決の柔軟な思考を養うことができた。また、食品ロスの問題を「自分事」として捉え、持続可能な社会の構築に向けた消費行動を考える素地を養うことができた。
2	題材・学習課題
	○かつお節削り体験とだし茶漬け作り
	活動内容 (活動内容) かつお節のだし汁を取った後のだしガラを活用することで、食品を無駄なく使う工夫を学んだ。 (生徒の様子) 調理実習を通して、食材を無駄なく使う工夫を実践し、食品の使い切りや循環利用の重要性を体験することで、食品ロス削減の具体的な方法を体験・理解した。
3	題材・学習課題
	○企業とのオンライン交流と SDGsの学び
	活動内容 (活動内容) 企業の SDGsへの取り組みを通じて、食品ロス削減という社会的課題を解決する社会的な意義を学び、自立した消費者としての役割を理解し日常生活で実践できる食品ロス削減の方法を考えたと。 (生徒の様子) 企業とのディスカッションを通じて、企業が取り組む食品ロス削減策とその背景について学び、地域や社会全体における持続可能な社会の構築に向けた食生活の在り方を、多面的・多角的な視点から考察・提案することができた。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">食品ロスの問題が様々な要因によるものであることを理解するとともに、環境への影響が少ない消費の仕方がわかる。	<ul style="list-style-type: none">自身や家族の食生活（消費生活）の中から食品ロスの問題を見いだして、解決に向けて具体的な方法を考えることができる。	<ul style="list-style-type: none">食品ロスの問題が、自分、家族、地域の人、一人一人の考え方や日常生活における行動と深く関わっていることに気づき、学んだことを自らの生活や行動に工夫し実践しようとしている。

本時の授業展開

本時の目標

- ・ 自身や家族の食生活（消費生活）の中から食品ロスの問題を見いだす。

本時の展開

時間(分)	学習活動	指導上の留意点
導入 (10)	○「食品ロス」に関わる日本の現状について知る。	・ 「食品ロス」について自分事として捉え、多角的に考えられるように、いろいろな角度から例をあげ（「安いからとまとめ買いしたが、食べきれず廃棄することで結果的に損をしている」など）、自分の食生活が社会的問題とつながっていることに気づかせる。
展開 (30)	○たこやきが生産者から私たちの食卓に届くまでに、いろいろなところで発生する食品ロスについてゲームを通して考える。 ○身近な食品ロス削減（解決）方法を考える。	・ 商品が作られ、食卓までに運ばれる間にも食品ロスが発生していることをおさえる。 ・ 食品ロスを減らすために様々な工夫が行われていることに気づかせる。 ・ スライド資料を共有しながら書き込むことで、他者の意見と比較しやすくする。
まとめ (10)	○「食品ロスとその後」についてと、「SDGsと食品ロスのつながり」について知る。	・ 食品ロス削減が SDGs の取組とどのように関係があるかを考えさせる。

使用した教材



▲大阪府が作成した「なんでやろう？食品ロス」カードゲーム



▲グループで考えたことについて、Googleスライドを活用し、共同編集する